

西原村議会だより

ゆうすい

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

第110号 平成30年8月2日発行

CONTENTS

- ◆六月定例会・臨時会／P2～3
平成30年度一般会計補正予算(第1号)
七、八二六万円を追加し
総額四六億一、三六五万円
- ◆一般質問／P4～8
 - ・学校に洋式トイレの増加とエアコン設置を求む
 - ・村の人口増加対策と今後の農業対策
 - ・水路復旧問題と災害公営住宅・現木造仮設住宅への入居について
 - ・神社仏閣の復旧は
 - ・消防団員の高齢化対応は
 - ・「コスモス」等のドラッグストアの誘致は
 - ・「特定外来生物等」の対策は
- ◆委員会報告／P9
 - ・公共育成牧場跡地利用対策特別委員会
 - ・西原村復興対策特別委員会
- ◆組合議会報告／P10
 - ・養護老人ホーム湯の里荘落成
 - ・よっていきなっせ／P11
- ◆本年度中に完成予定の
 - ・青少年の森『風の里』キャンプ場!!
 - ・職場からいこいちは／P12
- ◆サカタスイーツ

西原村の子ども達

子どものパワーが
みんなを元気に!!

No.110

2018.8.2

災害公営住宅 山西団地も8月には団らんへ

報告1号

平成29年度一般会計繰越明許費
(繰越計算書) 100億9,400万円

報告2号

平成29年度一般会計事故繰越し
(繰越計算書) 17億1,057万円

7月に入居された第2河原団地に続き、山西団地(45戸)も8月には、入居者にカギが渡され、仮設住宅の生活から落ち着いた生活を迎えて頂くことになった。

しかし、宅地再生関連事業は、多額の繰越しと事故繰越し事業として、本年度より着工しており、平成31年度末の期間を要して施工されるが、早期住宅再建のためにも更なる努力を求めたい。

6月
定例会

定例会が12日～15日の4日間開催
平成29年度の一般会計繰越明許計算書と一般会計事故繰越し計算書の報告2件・平成30年度一般会計補正予算他議案3件・同意2件・諮問1件を審議、すべて原案通り可決した。

平成30年度一般会計補正予算(第1号) 7,826万円追加し総額46億1,365万円

【主な歳入】

地方交付税……………827万円
国庫支出金……………3,351万円
県支出金……………737万円
財産収入……………1,111万円
繰入金……………1,100万円

【主な歳出】

地域おこし協力隊 ……827万円
災害救助費……………1,150万円
道路維持費……………700万円
公共土木災害復旧費 ……4,407万円
文教施設災害復旧費 ……527万円

質疑応答

【問】事故繰越し事業分に関して、本年度末までの完了は可能か。

【村長】年度末の補正予算であり、事故繰越しは、想定内である。事故繰越し事業は、本年度末までに完成に向け順調に推移しており、可能だ。

このH28年度予算分は、国庫補助率の嵩上げがあり、村負担の軽減が図られている。

【問】小学校の部活が廃止となるが、社会体育移行問題で、来年度予算編成するのか。

【教育長】今後の会合次第だが、児童のため議論を進めて行く。

【問】繰入金(創意工夫分)100万円の計画は。

【総務課長】応急仮設住宅の維持管理に充当する予定。この基金は多岐にわたって活用できない

いもので、常に県と打ち合わせての事業になる。

【問】県道熊本・高森線の土林と杉堂間の通行止めで、河原地区住民が迷惑しているが、工事の現状は。

【建設課長】この道路は県の管轄で、災害箇所が6ヶ所あり現在は4ヶ所復旧工事をしている。残り2ヶ所は、用地交渉に時間を要している。のり面の倒木伐採や大石の破碎等が進んでおり工事の進捗もあるが、通行止め解除に向けた会合を県と行っている。



県道熊本高森線の工事

第4回臨時会／3月27日 宅地再生へ本格始動!!

議案35号	災害関連地域防災がけ崩れ対策	鳥子	5,567万円
議案36号	災害関連地域防災がけ崩れ対策	小森・宮山	7,215万円
議案37号	災害関連地域防災がけ崩れ対策	河原①	1億1,545万円
議案38号	災害関連地域防災がけ崩れ対策	河原②	1億0,037万円
議案39号	災害関連地域防災がけ崩れ対策	河原③	9,896万円
議案40号	宅地耐震化推進(拡充)滑動崩落対策	袴野・出の口・宮山	5,707万円
議案41号	宅地耐震化推進(拡充)滑動崩落対策	滝①-1	7,302万円
議案42号	宅地耐震化推進(拡充)滑動崩落対策	谷頭③瓜生迫・瓜生	8,758万円
議案43号	大切畑地区宅地耐震化推進(大規模)滑動崩落対策		1億7,928万円
議案44号	田中高遊線道路災害復旧工事請負変更契約		6,549万円



宅地再生が始まった大切畑

【問】大切畑地区宅地耐震化対策の固結工法とはどのような工法か。

【震災復興推進課長】大切畑地区の傾斜地の地すべり抑止対策として、地すべり推定線より下面まで削孔(直径1.0m)し、セメントミルクを注入し、地山と攪拌しながらスラリー状の杭を形成し、その後固化したもので、柱列状に設ける杭になる。

質疑応答

第5回臨時会／5月21日 村民グラウンドの復活へ工事請負契約、他承認3件



ゲートボール場跡地

【問】指定寄付金の内、災害復旧とふるさと納税がある。その違いは。

【企画商工課長】それぞれに寄付される方々の目的を限定されている場合と指定されていない場合がある。

【問】グラウンドの照明は、明るくできないか。

【保健衛生課長】あくまで原形復旧なので照明は扱えない。今後教育委員会で対応する。

【問】村民グラウンドに隣接しているゲートボール場跡地の使用方法は。

【教育課長】碎石を敷き、駐車場等に使用したい。

質疑応答

第6回臨時会／6月26日 公有財産購入変更契約の締結(第2河原団地) 292万円減の2億9,454万円 総額は減だが、安全対策で手すりやスロープを追加し景観や生活に配慮した。

一般質問

坂本 隆文 議員



学校に洋式トイレの増加とエアコン設置を求む

村 長／順序を考慮して進めて行きたい!!

洋式トイレの増加について

【坂本】小学校・中学校の洋式トイレが不足していると子ども達と保護者から相談があった。先生達にも聞いて調査してみましたが、明らかに洋式トイレは不足している。と解答があった。今後の対応は。

【教育課長】県内の学校も時代の流れで洋式化が進んでいる。西原村でも検討していたが、スペースの問題で2個の和式トイレで1個の洋式トイレの設置となる為、検討している。

【坂本】数を減らしては、本末転倒となる。校舎の近くの外に新たに造る等、臨機応変に対応して頂きたい。
また、山西小・中学校の校庭のトイレも老朽化で平成26年4月の質問で建て替えると解答があったが、未だに昔のまま危険だと思いがどうなっているのか。

【教育課長】トイレ工事は、国の大規模改修補修事業に適用すると、3分の1の適用がある。

次年度以降、全部を洋式に変えるのではないが、この改修に向けた準備を進めて行きたい。

また、古くなった外のトイレも改修を考へて行く。



古くて危険な山西小屋外トイレ

エアコン設置は

【坂本】村の学校の通常教室は未だにエアコンが設置されていない。

街中の学校や、気候が似ている空港周辺の学校にも100%エアコンが設置してある。近年の猛暑は異常であり、真夏の授業は学習効率が低下するばかりか、熱中症の発症など、子ども達の健康も損なう可能性がある。

学校の教室にエアコンを付ける意思はないか。

【教育長】近隣町村のエアコン設置状況を調べたが、言われている通りである。本村の学校は特別教室棟を含め20教室に設置してあり、残り40教室で見積り金額は1億2千万円となる。中学校の生徒会にエアコン設置について聞いてみた。「エアコンの設置が可能なら、生徒は喜ぶと思います。でも、それ以上に大切にしたいことがあります。今まで支援をしてくださったことに感謝します。これまで、私たちに多くのことをしてくれたのに、少しの間我慢我慢することで、復興が早まるのであれば、それくらい我慢できます。

今、私たちは休み時間も楽しいし、授業時間も全ての時間が大切です。その時間があることが嬉しいです。夏の暑さの中で、ハアアア言って勉強するのもいい思い出になります。だから、エアコンがつくのは嬉しいのですが、今じやなくていいです。後輩にそのチャンスを譲ります。」という言葉をもらった。また、熱中症を調べたが、運動会や部活動での熱中

症はあるが、教室内での事例は無かったのでエアコン設置はもう少し時間を頂きたい。

【坂本】復旧・復興は私も一番に考えている、3月議会で大まかな予算取りは出来ている。

金額が、かかるのであれば、受験を控えた中学3年生からでもエアコンの設置はできないか。

【村長】議員が言われていることは十二分に承知している。しかし、学校問題では給食調理室のドライ化をしなければならぬ。また、震災前に計画があった役場堤下線、万徳新所線の道路改良を半分したまま終わっている。工業団地の調整池も全くない等、全てが今ストップしている。その辺も踏まえ、順序を決め進めて行きたい。

【教育長】教育委員会として、子ども達の健康状況と同時に、学力充実についても、さらに力を尽くしていく。ご理解頂きたい。

一般質問

上野 正博 議員



村の人口増加対策は

【上野】全国的に人口減少が続いている。

本村も少子化対策に取り組みべきではないか。そこで村主体で婚活イベント等を行い、男女の出会いの場を継続的に企画できないか。

南阿蘇村では、大変好調な婚活イベントが行われている。昨年は参加者の5割、19組が成立しており、今年は、定員を大幅に上回る471人の応募があった。本村も独自の活動は出来ないか。

【企画商工課長】村でも過去に婚活はあったが、7年間で結婚に至ったのは1組だった。

その後開催された南阿蘇村は、次世代定住課を設置し、定住の積極的な活動をされている。



人口増加を図る為には婚活の支援として、出会いの場作りも必要である。中身を工夫しながら今後検討していく。

【上野】村内定住を条件に結婚祝い金や出産祝い金の支給は出来ないか。

【企画商工課長】今後検討していく必要があるが、財政的な見直しも考慮しなければならない。

【上野】災害公営住宅入居で、集落を離れる方の空き地活用対策はどうされるのか。

【村長】自宅跡地の空き地は、所有者の資産であり活用を尊重すべきであるが、構想としては空き地バンク事業等を想定した施策を検討したい。

※空き地バンクとは、空き地の売却を希望する方が村に登録をして村のホームページ等を通じて物件情報を提供して紹介する制度である。

今後の農業対策は

【上野】農家の高齢化によって農地の空きが出てくると思う。耕作放棄地対策や農業後継者不足をどの様に取り組むのか。

【産業課長】遊休農地対策として農業委員会が毎年農地利用調査及び農家の意向調査を行っている。非農地判断、再生や転用指導を行っている。農地中間管理機構への貸し付けを推進している。



地震で更地となった宅地

本年度から農地利用最適化推進委員を設け、農業委員と共に遊休農地解消を図っていく。後継者不足については、農業次世代人材投資資金事業を活用して親元就農を中心に定着しつつある。これまで20組23名が交付を受けている。また農業師匠制度があり、指導農家として西原村から2名登録されている。



今後荒廃農地の拡がりか心配される!!

村の人口増加対策と今後の農業対策

企画商工課長／婚活の支援施策の検討

産業課長／遊休農地対策として農地利用最適化推進委員を新設!!

一般質問

山下 一義 議員



水路復旧問題と

災害公営住宅・現木造仮設住宅への入居について

村 長／県の受託工事及び村の工事で復旧中、住宅への入居は可能!!

用水路復旧はいつに

なるのか。

【山下】地震により大切畑ダムが崩壊、水路も壊れ、震災以降、小森地区の上井手・下井手の送水ができず田植えも出来ていない。この水路は防火用水と生活排水を兼ねた重要な水路でもある。送水予定はいつか。

【村長】被災が大きかった風当集落の上井手は、集落再生事業と同時に水路復旧を行う予定だったが、集落再生事業の進捗と合わないため、仮設水路を造り、できるだけ早く送水したいと考えている。

下井手は、風当集落内の水路が被災、集落再生事業と一緒に水路の復旧を考えていたが、現在の状況では、復旧にかなりの日数を要するため、水路そのものの経路を変えよう方向で検討している。

県並びに土地改良区と調整しながら、来年度に送水できるように、精一杯頑張っていく。

【山下】大切畑ダムの完成は5年ほど先と聞く。現在の水量では到底まかなえないと思う。それまでの期間の送水方法と分水工横のボーリング稼働はどう

【建設課長】

今年度より取水トンネル工事を着手、ダム本体は平成31年10月から平成35年の計画である。



送水が待たれる大切畑ダム

大切畑へ流れる河川が2ヶ所被災しており水量も減っている。今年度補修予定である。暫定水利用計画を策定する予定であるが、明確な答えは出せない状況である。

ポンプは県が今年度中に設置する予定。少しでも多くの水を確保できるように努めていく。

【村長】今回の大切畑ダム水利用で時間はかかるが、ダム周辺の方々の田畑を購入し工事を進める事になる。この方々はその場所で一生田畑を作れなくなる。そのことも踏まえ、完成予定の平成35年位までは水不足もあると思うが、お互いに協力して頂きたい。

希望者は全て入居は可能か、その家賃は

【山下】災害公営住宅と木造仮設住宅へ入居希望された世帯は全て入居できるのか、また、家賃の設定金額は。

【村長】山西団地45戸、第2河原団地12戸、計57戸、現在までの入居者予定数は山西団地40世帯、第2河原団地11世帯、どちらでもよいが2世帯となっている。

木造仮設住宅50戸あり、入居希望者は35世帯。村としては県から譲渡して頂き、村の単独住宅として考えている。

災害公営住宅の家賃は、政令月収〇〜一〇万四千円に対し、2LDK家賃二万八千円〜二万八千三百円、3LDK二万二千円〜二万二千八百円。

木造仮設住宅は、仮算定で、3Kで月額二万二千円、2DKで九千円、1Kで六千円と考えている。

【山下】入居希望の大半の方がひとり暮らしか、二人暮らしの方だと思ふ。国民年金で生活されている方にとっては大変な出費である。今回の震災で家を失

い、苦勞された入居希望者に対し、少しでも家賃減免の考えはないか。

【村長】家賃設定は入居時や入居後に毎年申告して頂き、各世帯の収入や、住宅規模で異なる。

熊本市近郊に比べると、低額となっている。家賃は今後、公営住宅の維持管理費や、老朽化の補修費等に必要なる財源となる。低所得者の方は、毎月の家賃の支払いの他にも、共益費や生活に必要な高熱水費などの負担も必要であり、家計が厳しくなることも考えている。

県も、入居される低所得者の家賃減免等について、県全体の課題として検討しており、本村も他自治体の状況を見ながら、考えて行きたい。



災害公営住宅(第2河原団地)

一般質問

林田 直行 議員



神社仏閣の復旧・復興はどうするのか

【林田】2年前の熊本地震で被災した神社仏閣の調査はされているのか。

【教育課長】教育委員会では49ヶ所調査・確認している。地元から21ヶ所の状況報告があった。

【林田】村内の神社仏閣は歴史的建造物である。また神社の年中行事は、地域づくり活動にも大きく貢献している。

被災した神社等の復旧は、どう支援をするのか。

【教育長】平成28年熊本地震復興基金交付金の地域コミュニティ施設等再建事業があり、内容として支援対象経費の50%、1件当たり一千万円を限度とした支援で説明を行っている。現在、21ヶ所の修復の相談があつている。

【林田】現在、神社関係の地区から村指定文化財への要望があつている。村の指定文化財になれ

ば、村の補助金と復興基金を活用する事ができ地元負担は4分の1で済む。対応はどうするのか。

【教育課長】3ヶ所の地区から要望書があがつている。村の指定文化財となれば、全体事業のうち村の単独補助50%、平成28年熊本地震被災文化財等復旧復興基金で25%支援があり、地元負担が25%となる。村の単独補助金80%に、特別交付税の財政支援がある。

文化財等復旧復興基金は限度額もないので、今後この基金が活用できるよう進めていきたい。

【村長】未提出の地区も申請を出されれば、文化



被災した八王社

消防団員の 高齢化対応は

財保護委員会が諮問・審査し、文化的価値があれば村の指定文化財として登録する。そうならば基金を活用して地元負担が少なくなる。

【林田】西原村消防団は、熊本地震発生直後多くの人命を救った。

これは、日ごろの訓練の賜だ。また、その後は昼夜を問わず、住民の生命財産を守ってくれた。改めて消防団の大切さを感じた。しかし、各分団とも、団員の高齢化が進んでいる。今後の消防団体制はどうするのか。

【村長】消防団は地域に根ざした組織であり、自分の地域は自分で守るといふ郷土愛から成り立っている。

地域を守るのが消防団であり、地元住民の意見が大事である。建物火災では多くの団員は必要としないが、大規模災害、山林

【総務課長】班の統廃合を含む団員数の検討、上限年齢等、機能別消防団員の導入等を協議中である。

いずれにしても、消防力に大きく影響することなので幹部会議等で十分検討し、集落とも十分な協議が必要不可欠である。

火災、搜索活動の時は消防団が地理的に詳しく、且つ、多くの人員を要する。よって、地元の意向を聞き幹部会議等で総合的に検討する。



西原村消防団／出初め式

神社仏閣の復旧・復興と消防団員の高齢化対応は

村長／平成28年熊本地震被災文化財等復旧基金を活用し支援

消防団幹部会、消防団と地元の集落、地域と協議し総合的に判断する!!

一般質問

堀田 直孝 議員



「コスモス」等のドラッグストアの誘致は 「特定外来生物等」の対策は

村 長／誘致はしないが、進出は拒まない、外来生物に対応体制を今構築している!!

ドラッグストアの誘致は

となるが如何か。

【堀田】本村において以前は集落ごとに一ヶ所以上の商店があったが、時が経つとともに各集落の商店が減り続け、現在、村内には数件の店舗が営業されている状況である。村が行っている消費動向調査の推移はどのようにになっているか。

【企画商工課長】地元での購買率の減少ははつきりしている。結果、本村として商業振興策にどう結び付けるかが課題である。

【堀田】住民の皆さんから生鮮食料品を扱う「コスモス」みたいなディスカウント・ドラッグストアがあれば良いのにとの声を聴くが、このような商業施設の誘致についてどう思うか。

もし、このような商業施設が進出すれば、利便性による人口の増加、固定資産税・法人税の増収・雇用確保また、人口減少の回復が見込まれる。人口増加の面で、村外から転入される方は学校公共施設までの距離、公共交通機関の有無、特に商業施設の有無が重要な選択ポイント



隣の大手ディスカウント・ドラッグストア

【村長】積極的誘致は少し抵抗があるが、商業施設側が採算性を考慮したうえで進出は拒まない。
村としては、移住定住促進のために、プロモーションビデオを作成し村のPRを行っていく。

「特定外来生物等」の対策は

【堀田】生態系などに被害を及ぼすものと指定された特定外来生物等の侵入について把握されているか。

【村長】特定外来種には動物も植物も色々あるが、植物については花は割と綺麗な「オオキンケイギク」が星田地区に多く生息している。

【保健衛生課長】対策として、県の振興局の土木部に引抜駆除を依頼した。



星田地区に咲くオオキンケイギク

【産業課長】動物のアライグマについては、年に一、二回の目撃情報があるが、正確には確認されていない。もしアライグマが確認された場合、鳥獣保護法では対応できず、外来生物法に基づく事務処理になる。
村としては、



進入が懸念されるアライグマ

地域対策協議会の設置、防除実施計画の作成の事務が必要となり現在、その設置が迅速にできるよう準備を進めていく。

【堀田】最近、集落内において疥癬病に罹ったタヌキを見受ける特徴は全身の毛が抜け落ちたタヌキで、厄介なことに、飼い犬等のペットを介して人間にも感染するということ、非常に重大な問題と思うがその対策は。

【保健衛生課長】鳥獣保護法により簡単に捕獲できないが、内部で協議し対応していく。

委員会報告

公共育成牧場跡地利用対策特別委員会 《村上 高志》

(有)駒城への貸付分現地視察。
畜舎の中には、馬が257頭、放牧頭数65頭であった。

畜舎の中も外もきれいに整備されており、きちんと管理されていた。



公共育成牧場跡地視察

委員会報告

西原村復興対策特別委員会 《上野 正博》

平成30年6月6日復興推進課より復興計画の推進状況の説明を受け、その後現地確認を行った。災害公営住宅については、第2河原団地が6月10日に県下でいち早く落成式を行い、山西団地も7月内に完成の運びとなる。室内は県木材を使用し木の香りが心地よく、現代風な作りは入居者が満足されると思われる。

地がけなどの関連工事は3月27日に9社(57か所)と工事請負契約を締結し、その後の工事進捗状況は星田地区の防災がけ崩れ対策工事は完了している。大切畑地区の宅地耐震化推進(大規模)滑動崩落対策工事は着工までの準備等に時間を要するようだ。星ヶ丘地区の宅地耐震化推進及び他の工事は、進捗率20%位と思われる。下小森地区の移転予定地は史跡調査で埋蔵文化財包蔵地に該当したため再度住民と方向性を協議する。

大切畑ダムの崩壊後の水不足の解消は、県が風当地区の上井出・下井出の分水路の横に農業用水としてボーリングを行った。まだポンプは付いてはいない。稼働には、高額な電気料金が生じるので県と協議が必要である。

集落再生地区の擁壁や道路の拡幅工事は、凶面の作成次第だが工事の発注を30年度内に終わらせるとしている。

布田川の大型砂防堰堤や治山工事は発注されたが、今後建設業者の人手不足による入札の不調・不落が心配であるが着実に復旧・復興が進んでいる。



完了した星田地区防災がけ崩れ対策事業



復旧によって3年ぶりに田植えができた布田地区



西口 義充



新設中の風の里キャンプ場事務所

リニューアルし、本年度中に完成予定の
青少年の森『風の里』キャンプ場
Seishônen no Mori "KAZE NO SATO" Campsite



お問い合わせ 西原村商工会 TEL096-279-2295

県道熊本・高森線を東へ向かって行くと目の前にそびえる俵山(1,095m)。その手前に見える小高い大峯山(409m)が見えます。9万年前までは大峯火山として活発に活動していたとのこと。今の高遊原台地も火砕流噴出によって形成したと伝えられています。本来なら大峯山を起点として高いところから低くなるのが当然であります。現状では空港がある高遊原台地から南東側へ傾斜していて、不自然な状態です。これは布田川断層が噴火によって切られ落ち込んだために南東へ傾動したと考えられています。このため大雨が降ると布田川へ殆ど流れています。

大峯山にある風の里キャンプ場は、施設宿泊棟も整備されていましたが、今回の熊本地震によって全て被害を受けました。新たに整備することになり、本年度中には完成する予定です。キャンプ場・宿泊施設はもとより新たに研修棟も整備されます。

高台でとても眺めが良いところで、自然豊かな場所です。機会があれば足を延ばして活用して見られては如何でしょうか。

KAZE NO SATO
CAMP SITE



風の里キャンプ場展望所より望む風景



代表/坂田 まゆみさん(写真右)・娘:千枝さん(写真左)

職場から みんなのページ SHOKUBA KARA KONNICHUWA こんにちは

今回は、熊本地震で被害の大きかった大切畑地区で被災されながら見事復活され、元気を皆さんに届けられている「サカタスイーツ」さんを紹介いたします。居るだけで気持ちが明るくなる素敵なお店です。

サカタスイーツは、創業13年、西原村大切畑地区にある洋菓子店です。元々、お漬物やお惣菜を作って地元のお店に販売していましたが、お弁当と洋菓子の販売を始めたのをきっかけに熊本市内の病院内にある売店などに卸すようになりました。

2016年の熊本地震では、建物が全壊し、多くのものを失いましたが、たくさんのご支援と心温まる励ましの言葉に助けられて、再建することができました。

毎日、元気いっぱいの愛情こめたお弁当やお惣菜、スイーツを作っております。笑いが絶えないサカタスイーツへ是非お越しくださいませ。

スタッフ一同、心よりお待ちしております。



バラエティにとんだ美味しいスイーツ



スイーツの他、雑貨も販売!!



看板三人娘?!



愛情いっぱいオリジナルスイーツ各種

阿蘇・西原村の小さなお菓子屋さん
Sakata Sweet
【サカタスイーツ】

所在地/〒861-2402 熊本県阿蘇郡西原村小森2005
営業・受付時間/10:00~16:00(受付時間/13:00~17:00)
※お電話とファックスでご注文承っております。
TEL:096-279-3071 FAX:096-243-4700
定休日/水曜日
ホームページ <http://www.nishiharamuranochiffoncake.com/index.php>
事業内容/スイーツ各種製造販売及び雑貨販売

議長 宮田勝則

発行責任者

- 委員 長 坂本隆文
- 副委員 長 中西義信
- 委員 林田直行
- 委員 堀田直孝
- 委員 村上高志

広報委員

文責/林田直行

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。自然は私たちが優しく包み込んでくれるが、時には人工物を一瞬の内に破壊してしまう。そして命を奪う。自然の摂理かもしれないがその度に私たちはまた作り上げていく。つずつ着実に、復旧は速く復興はゆつくりと。まだまだ頑張らなきゃ!

編集後記

平成30年7月豪雨は西日本に甚大な被害をもたらした。テレビや新聞を見ると虚しさが込み上げてくる。2年前の地震がまた甦ってきた。